

城主や妻たちにスポットを当てた 岡山城歴史講座「岡山城“ひと”ものがたり」を開講します

「歴史を伝える城、集う城」をテーマに掲げている岡山城では、岡山城主やその妻たちをテーマに、NHK大河ドラマの時代考証を担当する歴史学者や直近の直木賞受賞作家らを講師に招き、3回シリーズの歴史講座を開講します。

1 日時

10月1日(日)・11月11日(土)・12月16日(土) 各日13時30分～15時

2 場所

能楽堂ホールtenjin9(北区天神町 RSKイノバイティブ・メディアセンター内)

3 内容

第1回(10月1日) 「宇喜多秀家と豪姫」 講師:小和田哲男(静岡大学名誉教授)

第2回(11月11日) 「宇喜多直家とおふく」 講師:垣根涼介(直木賞作家)

第3回(12月16日) 「池田光政と天樹院(千姫)・勝姫・輝姫」 講師:浅利尚民(就実大学准教授)

4 受講料

3回シリーズ4,000円

・受講料は初回到会場で徴収します。なお、単回での申込はありません。

5 申込方法

専用フォームからのWEB申込(電話等での受付は行いません)。

申込期間は令和5年9月4日(月)～9月18日(月・祝)

・一人一枚までで複数名まとめたの申込はできません。

・定員は200人で、応募者多数の場合は抽選とします。当選者には聴講券を送付します。抽選結果は聴講券の発送を持って代えます。



専用フォーム
二次元バーコード

6 その他

詳細は別紙をご覧ください。

【問い合わせ先】

岡山市観光振興課 板野・風早 直通086-803-1332 内線4532・4533

申込に関する問い合わせ…山陽新聞社事業本部(電話086-803-8015)



岡山城歴史講座



「岡山城“ひと”ものがたり」

岡山のまちの礎を築いた宇喜多直家公にはじまり、岡山城を築城した秀家公、名君と称された池田光政公ら岡山城にまつわる城主と、その妻たち。令和5年度の岡山城歴史講座は歴史学者、作家の3名がその人物像に迫ります。

戦国女性の果たした役割とは
「宇喜多秀家と豪姫」

第1回

10月1日[日]



©今井一詞

静岡大学名誉教授

おわだてつお

小和田 哲男氏

Profile 1944(昭和19)年静岡市生れ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、静岡大学名誉教授、文学博士、(公財)日本城郭協会理事長、岐阜関ヶ原古戦場記念館館長。専門は日本中世史、特に戦国時代史で、主著『後北条氏研究』『近江浅井氏の研究』のほか、『小和田哲男著作集』などの研究書の刊行で、戦国時代史研究の第一人者として知られている。NHK大河ドラマの時代考証も数多く手がけ、現在放送中の「どうする家康」も担当している。

時 間:各日とも13:30~15:00

会 場:能楽堂ホールtenjin9 [岡山市北区天神町9-24RSKイノベイティブ・メディアセンター内]

受講料:3回シリーズ 4,000円 [※初回到会場で徴収します。※全回出席されない場合も全額お支払いください。]

定 員:200名 [※事前申込み必要。応募者多数の場合は抽選]

申し込み方法

※いただいた個人情報は、当企画以外には使用いたしません

右記専用フォームからご応募ください。

(電話での受付はいたしません)応募者多数の場合は抽選とします。当選者には聴講券を送付します。抽選の結果は聴講券の発送をもって代えます。複数名まとめてのお申し込みはできません。

締め切り:9月18日(月・祝)



専用フォーム

問い合わせ先 山陽新聞社事業本部 TEL086-803-8015

主催:おかやま城下町物語実行委員会

(岡山市、おかやま観光コンベンション協会、山陽新聞社)

「宇喜多直家とおふく」

第2回

11月11日[土]



写真:文藝春秋

直木賞作家・宇喜多直家主人公『涅槃』作者

かきね りょうすけ

垣根 涼介氏

Profile 1966(昭和41)年長崎県諫早市生れ。筑波大学卒業。2000年『午前三時のルースター』でサントリーミステリー大賞と読者賞をダブル受賞。2004年『ワイルド・ソウル』で、大藪春彦賞、吉川英治文学新人賞、日本推理作家協会賞と、史上初の3冠受賞に輝く。翌2005年、『君たちに明日はない』で山本周五郎賞を受賞。2023年『極楽征夷大將軍』で直木賞を受賞。その他の著書に『光秀の定理』『室町無頼』『信長の原理』『涅槃』など多数。

「池田光政と天樹院(千姫)・勝姫・輝姫」

第3回

12月16日[土]



就実大学

人文科学部表現文化学科長・同准教授

あさり なおみ

浅利 尚民氏

Profile 1976(昭和51)年青森県弘前市生れ。同志社大学院文学研究科博士課程前期修了。博士(文学)。2001年から林原美術館に勤務、学芸課長を経て、17年4月から就実大学に勤務し、23年4月から現職。専門は日本美術史・日本文化史、特に岡山藩主池田家に伝わった大名道具類の研究。共著に「石谷家文書 將軍側近のみた戦国乱世」など。

